

## **2 . 平成 8 年度 ~ 平成10年度飼料作物単収 向上実証展示圃の成績一覧表**

表 1 平成 8 年度飼料作物単収

	設 置 場 所	管 理 者	草 種 (品種)
8 - 1	邑久郡牛窓町牛窓	牛窓町飼料作物 利用組合	リードカナリーグラス (ベンチャー) トールフェスク (ケンタッキー31フェスク)
8 - 2	笠岡市拓海町	山 本 恵 之	イタリアンラクグラス (ワセアオバ) アルファルファ (タチワカバ)
8 - 3	浅口郡鴨方町小阪東	野 住 直 人	ケンタッキーブルーグラス (メツオン) チモシー (ホフセン), シロクローバー (フィ ア), ローズグラス (カタンボラ)
8 - 4	笠岡市カブト中央町	竹 信 博 己	アルファルファ (タチワカバ)
8 - 5	笠岡市カブト中央町	東 山 隆 男	イタリアンライグラス (タチワセ) 大麦 (きぬゆたか)
8 - 6	笠岡市カブト中央町	平 野 耕 平	大麦 (きぬゆたか)
8 - 7	久米郡久米町宮部下	久米町酪農組合	イタリアンライグラス (タチワセ)
8 - 8	苫田郡富村富西谷	富 畜 産 公 社	トールフェスク (ケンタッキー31フェスク) イタリアンライグラス (フタハル)
8 - 9	津 山 市 大 田	甲 本 節 夫	イタリアンライグラス (タチワセ)
8 - 10	津 山 市 福 井	井家上 正 実	イタリアンライグラス (マンモスB) ライコムギ (ライコック)
8 - 11	勝田郡奈義町中島東	小童谷 進	イタリアンライグラス (ワセユタカ) ソルガム (ウルトラソルゴー)

## 向上実証展示圃の成績一覧表

展 示 内 容 と 成 績
<p>塩田跡地における飼料生産利用技術を確立するため、耐湿性の強い牧草のリードカナリーグラスとトールフェスクの混播を行ったところ良好な生育をした。</p> <p>なお、省力的機械化体系によりロールベールサイレージを調製している。</p>
<p>ロールベールサイレージ材料としてのイタリアンライグラスの栽培技術を確立するため実証展示したが、良好な生育を示し、良質のサイレージを調製することができた。</p> <p>なお、アルファルファは4月下旬にアルファルファタコゾウム被害を受け、再度播種した。</p>
<p>ケンタッキーブルーグラス・チモシー・シロクローバーの放牧用草地へ5月25日にローズグラスを10a当たり1kg追播し、夏季の収量向上を狙ったところ、初期生育は悪かったがその後回復し、収量向上に役立った。</p>
<p>笠岡湾干拓地におけるアルファルファの栽培と利用技術を確立するため栽培実証を行ったところ4月下旬にアルファルファタコゾウムが発生した。しかし、早期の刈り取り利用によりその後の発生をおさえ、高い収量が得られた。</p>
<p>イタリアンライグラスと大麦の混播栽培による倒伏防止と収量向上を狙って実証展示圃を設置したところ、従来のイタリアンライグラスの単播に比較して倒伏が少なく、収量向上が認められた。</p>
<p>サイレージ材料としての大麦の栽培技術を確立するため、栽培実証を実施したところ、収量が高く、良質の材料が生産された。また、糞尿の施用により高収量と肥料費の節減が図られた。</p>
<p>イタリアンライグラスの早晩性品種を組み合わせることで単収の向上を図ると共に、ロールベラーの共同利用による効率的収穫調製技術の確立を目的に実施展示した。その結果、単収向上と機械化による共同作業体系が確立できた。</p>
<p>トールフェスクと越夏性のあるイタリアンライグラス（フタハル）の混播による高位生産を図ることを狙いとして実証展示し、一応の成果を得た。今後は畦畔も含めた採草放牧兼用草地としての利用技術を確立する。</p>
<p>ロールベールサイレージ材料としてのイタリアンライグラスの栽培技術を確立するため、耐倒伏性品種を利用し、栽培実証を行ったところ、倒伏が少なく、機械化作業がスムーズに実施できた。</p>
<p>イタリアンライグラスとライコムギの混播による倒伏防止と推肥の有効利用による高位生産技術を確立するため、実証展示を行った結果、倒伏が軽減され、収穫作業の省力化が図られた。</p>
<p>県北部におけるロールベールサイレージ用飼料作物作付体系を確立するため秋冬作にイタリアンライグラス、春夏作にソルガムを作付けし、実証展示したところウルトラソルゴーは播種量を多くすると細茎となりロールベールが可能であった。</p>

表2 平成9年度飼料作物単収

	設置場所	管理者	草種(品種)
9 - 1	笠岡市カブト中央町	小原 誠 治	イタリアンライグラス(タチムシャ) " (タチワセ) " (コンモン)
9 - 2	小田郡矢掛町角	矢掛町畜産公社	大麦(あまぎ二条) イタリアンライグラス(ワセユタカ)
9 - 3	笠岡市カブト中央町	吉本 洋 治	ローズグラス(カタンボラ) イタリアンライグラス(タチワセ)
9 - 4	笠岡市カブト中央町	内海 佳 和	ギニアグラス(ナツカゼ) イタリアンライグラス(ワセユタカ) 大麦(あまぎ二条)
9 - 5	津山市高野山西	山本 和 雄	ソルガム(ビックシュガーソルゴー) " (高糖分ソルゴー)
9 - 6	津山市下横野	松永 茂 樹	オーチャードグラス(アオナミ) ハイブリッドライグラス(テトリライト) イタリアンライグラス(ワセユタカ)
9 - 7	津山市高野山西	山田 克 己	イタリアンライグラス(タチムシカ) " (タチマサリ) " (タチワセ)
9 - 8	津山市大篠	松本 美智治	イタリアンライグラス(ワセアオバ) エンバク(スーパーハヤテ)
9 - 9	勝田郡勝央町豊久田	石原 博 美	スーダングラス(ヘイスーダン) イタリアンライグラス(タチワセ)

## 向上実証展示圃の成績一覧表

展 示 内 容 と 成 績
<p>ロールベールサイレージ材料としてのイタリアンライグラスの適応品種を選定し、高位生産を図るため実証展示した。収量はタチワセ，タチムシャ，コンモンの順となった。</p>
<p>秋作用の麦とイタリアンライグラスの混播栽培を行い、単収向上とあわせてサイレージの品質向上を図ることを狙いとして実証展示を行い、高収量を得た。特にイタリアンライグラスと大麦の混播により良質のサイレージが調製できた。</p>
<p>春夏作にローズグラス，秋冬作にイタリアンライグラスを栽培し、乾草用牧草の周年作付利用体系の確立を狙って実証展示した。いずれも高収量で良質の乾草を調製することができた。</p>
<p>春夏作にギニアグラス，秋冬作にイタリアンライグラスと大麦の混播という作付体系の確立を狙って実証展示した。ギニアグラスの導入による単収向上とイタリアンライグラスと大麦の混播による倒伏防止とサイレージの品質向上が図られた。</p>
<p>多収で高糖分のソルガムの2品種の特性を把握するため実証展示を行ったところ、ビクシュガーソルゴーが多収であった。いずれもサイレージに調製したが良質の製品が得られた。</p>
<p>3種の牧草の混播草地を造成し、採草利用によって高位生産を図る狙いで実証展示した。県北部は棚田が多く、飼料生産ほ場の条件が悪いが、混播草地造成によって効率的利用方式の確立の見通しがついた。</p>
<p>イタリアンライグラスの品種特性を生かした栽培により高位生産を図るため、耐倒伏性の強い3品種の栽培実証を行った。収量はタチムシャ，タチマサリ，タチワセの順となり、県北部における適応優良品種を選定できた。</p>
<p>イタリアンライグラスにエンバクを混播して倒伏の防止を図ると共に高位生産と養分バランスのとれた粗飼料生産を狙って実証展示した。イタリアンライグラスとエンバクの混播によって倒伏が防止され、高位生産が図られた。</p>
<p>ロールベールサイレージ用飼料作物作付体系を確立するため、秋冬作にイタリアンライグラス，春夏作にスーダングラスを作付けし実証展示したところ、両作物とも高い収量を得られた。</p>

表3 平成10年度飼料作物単収

	設置場所	管理者	草種(品種)
10 - 1	小田郡美星町三山	美星町畜産振興会	エンバク(ハヤテ) イタリアンライグラス(ワセユタカ)
10 - 2	浅口郡里庄町里見	原田正己	トウモロコシ(スノーデント127) " (スノーデント135Z) " (パイオニア3008)
10 - 3	浅口郡鴨方町本庄	奥島暉海	ソルガム(TDNソルゴー) " (ハイグレンソルゴー)
10 - 4	真庭郡八束村共和	蒜山酪農農業協 同組合	チモシー(ホクオウ) " (ホクエン)
10 - 5	真庭郡川上村上徳山	筒井彦二	オーチャードグラス(アキミドリ) ペレニアルライグラス(キヨサト) トールフェスク(ヤマナミ)
10 - 6	苫田郡加茂町榎井	藤木勝美	トウモロコシ(セシリア) " (スノーデント125Z) " (スノーデント127)
10 - 7	久米郡柵原町安井	吉原謙一	トウモロコシ(スノーデント114) ソルガム(高糖分ソルゴー)
10 - 8	英田郡美作町下香山	安東功史	ソルガム(ウルトラソルゴー) スーダングラス(ヘイスーダン)
10 - 9	英田郡美作町奥大谷	森広達也	イタリアンライグラス(タチムシャ) " (タチマサリ)

## 向上実証展示圃の成績一覧表

展 示 内 容 と 成 績
夏まき年内どりエンバクとイタリアンライグラスの組み合わせによる高位生産を狙って実証展示したところ、エンバクは高位生産がはかられた。
県南部地域に適応するトウモロコシの品種を選定するため、実証展示をしたところ、収量においては、スノーデント127，スノーデント135V，パイオニア3008の順となった。
糖分含量が高くて単位当たり収量の多いソルガムの品種を選定し、安定的高位生産技術を確立するため実証展示したところTDNソルゴーおよびハイグレンソルゴーともに高収量であった。
チモシーの適応品種を選定し、栽培技術を確立して、良質牧草の高位生産を図った。
永年性牧草地に繁茂している外来雑草のワルナスビの駆除技術の確立を狙って、ハーモニー75DF水和剤，ザイトロンアミン液剤，ラウンドアップ液剤の散布実証を行ったところ、いずれの薬剤も除草効果を認めた。
サイレージ用トウモロコシの県北部地域における適性優良品種を選定するため実証展示したところ、収量では、スノーデント125Z，スノーデント127，セシリアの順となった。
トウモロコシ播種時に肥料用ホッパーより肥料と混合したソルガムの種子を播種し、混播栽培技術を実証展示したところ、第1回目の収穫時はトウモロコシが主体であったが、ソルガムの再生は良好で省力的に高位生産が図られた。
ロールベールサイレージ用として茎が細くて収量が高い品種を選定し、省力的な機械化体系を確立するため実証展示したところ、ウルトラソルゴーおよびヘイスーダンとも良好であった。
ロールベールサイレージ材料としてのイタリアンライグラスの適性品種を選定し、高位生産を図る。